

シンポジウム 全自・日産53年争議 ——半世紀後の総括と課題——

プログラム

1. 講演 木下武男（鹿児島国際大学教授）
「全自型賃金の到達点とその現代的意義」（仮題）
2. 53年争議参加者とのディスカッション

参加費 無料
(但し、資料代等の実費をカンパしていただく場合あり)

講演者の略歴

1944年福岡県生まれ。東京理科大学・法政大学卒業。法政大学大学院社会学研究科修士課程修了。

著書『日本人の賃金』（平凡社新書, 1999年）、共著『講座 現代日本3 日本社会の再編成と矛盾』（大月書店, 1997年）など、他論文多数



日時：2003年4月26日(土) 14時より

場所：横浜市立大学瀬戸キャンパス

ビデオホール

京浜急行電鉄「金沢八景駅」徒歩5分
(下記地図参照)

主催

全自・日産争議50周年記念シンポジウム実行委員会
実行委員長：中村秀弥（全自初代委員長）

連絡先

吉田誠（横浜市立大学 商学部教員）

Tel: 045-787-2102

E-mail: myoshida@yokohama-cu.ac.jp

